



上越 GIGA 通信

2020 年 12 月 22 日

No.7

編集・発行

学校教育課 情報教育担当

《お試し：G Suite を使う子どもの様子から》

市内の学校で行われた校内研修をリモート参観しました。上越教育大学 清水雅之教授が授業者となり、G Suite for Education を使った授業を行いました。G Suite の優れた機能の一つに、共同作業のしやすさがあります。その利点を生かし、Google クラスルームの教師の一人として参加し、教育プラザから、学習課題や子どもがワークシートへ書き込む様子を見ました。

最初の課題は「自己紹介をしよう」です。〈図1〉

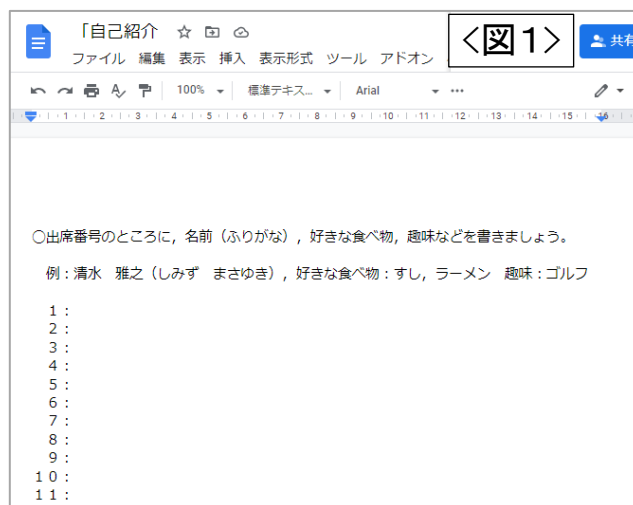
クラスルームで課題をクリックすると、右のような、出席番号が書かれたワークシートが開きます。このワークシートは共有されているので、複数人が同時に書き込むことができます。様子を見てみると、様々な場所で同時に、自己紹介が書かれていきます。まるで、黒板に子どもたちが集まって、一斉に答えを書いているかのようです。

しばらくすると、他の人の書き込みを消してしまう子どもが出てきました。「人のつくったものを大切に」することは情報活用能力の中の情報モラルの一つです。あとで清水教授に話を聞いたところ、そのような行為が出てくると予想し、仕掛けた課題だったそうです。画面を見ていると、書き込みが途中でパッと止まりました。きっと教室ではこの行為について、子どもたちに考えさせていたのでしょう。

次の課題は「協力してスライドを完成させよう！」です。〈図2〉サンプルスライドを参考に、3人グループで協力して作成します。

作成している様子を見てみると、図形を勝手に削除したり、他の人が作成した図形を変形したりする子どもはいませんでした。前段の指導が効いたのか、協力しながら作成していました。〈図3〉

校内研修で G Suite for Education を使いたいという問い合わせがあります。テスト利用のためのアカウントを用意しました。必要であれば、お問い合わせください。



次回も、G Suite を活用した取組について紹介していきます。